



もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.26

「放射線対策万全に」



農林水産常任委員会

天童市内農業者と意見交換

▲天童市農協本所での意見交換会

農林水産常任委員会の県内視察地として8月3日、天童市を訪れ、果樹園などを視察しました。最初に、原崎地内のハウスブドウ団地を視察。集荷直前の「ピオーネ」と山形県の奨励品「シャインマスカット」の生育を期待下さい。



▲ブドウ園地で生育を確認

更新する際の補助事業はないか」などの要望を頂いたところです。サクランボ同様、ブドウ園地への補助事業は拡充の必要性があります。現在、県に対して強く訴えているところです。どうぞご期待下さい。

その後、天童市農協本所で、農家の皆様と意見交換が行われました。出席頂いたのは、天童市果樹部会、天童市畜産部会、ハウスブドウ団地の皆様、農協役員・職員の皆様です。今後の天童市の農業をさらに向上していくこととして、こういった補助をお願いしたい」といった原発問題に対するご要望が多く見られました。このほど山形県内からは、やはり「放射線汚染対策をしっかりと行っ堆肥から国の暫定基準値(1キログラム400ベクレル)を超える放射性セシウムが検出されました。天童市の農家からは「ハウス更新事業を必要としている農家がたぐさ染の対策を早急に行っていく必要がある」との指摘を頂きました。同行した村山総合支庁の職員も強くその旨を認識して頂いたようです。この件に関しても、私にも多くの方からご要望を踏まえた対策等を順次進めている次第です。また、果樹部会の皆様

牛ふん堆肥 セシウム問題 天童市で検出なし

福島第一原子力発電所 可能性として決定打に欠ける思いも致します。自然エネルギーは風力・水を増すなか、政府の考え力・太陽光・バイオマスなどがあありますが、これも20年後には原子力発電への依存を限りなくゼロになることを目指してお

でも今後のエネルギー確保に今から積極的に動いていかなければなりません。議論していく時期です。

「卒原発」提唱に思う

福島第一原子力発電所 可能性として決定打に欠ける思いも致します。自然エネルギーは風力・水を増すなか、政府の考え力・太陽光・バイオマスなどがあありますが、これも20年後には原子力発電への依存を限りなくゼロになることを目指してお



もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など

023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3 丁目 4-17

もりや仙一郎

<http://blog.goo.ne.jp/furusato-08>

ブログにて、日頃の活動の報告を公開しております。QRコードでアクセス

